

筑西市国民健康保険  
第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画  
-概要版-  
令和6年度（2024年）～令和11年度（2029年）

1 基本的事項

1. データヘルス計画の趣旨と他計画との整合性

データヘルス計画	特定健康診査等実施計画
「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」ことが掲げられた。これを踏まえ、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定する。	平成20年度より「高齢者の医療の確保に関する法律」（昭和57年法律第80号）に基づき、特定健康診査・特定保健指導の実施が義務付けられた。同法律に基づき作成された特定健康診査等基本方針に基づき、実施計画を策定する。
データヘルス計画の目的	
平均自立期間の延伸（開始時：男性78.9歳 女性84.7歳）	
他計画との位置づけ	
本計画は健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、健康増進計画や医療費適正化計画、介護保険事業（支援）計画、高齢者保健事業の実施計画及び国民健康保険運営方針と調和のとれたものとする。	
関係者連携	
国保担当が中心となって、関係部局や関係機関の協力を得て、保険者の健康課題を分析し、計画を策定する。また、後期高齢者医療担当や介護保険担当、生活保護（福祉事務所）担当と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者や生活保護受給者の健康課題も踏まえて保健事業を展開する。	
計画の評価	個別事業の評価
設定した計画の評価指標に基づき、KDBシステム等を活用し、計画の最終年度のみならず、中間時点等計画期間の途中で進捗確認及び中間評価を実施する。	設定した保健事業ごとの評価指標に基づき、KDBシステム等を活用し、毎年度、評価を実施し、必要に応じて次年度の保健事業の実施内容等の見直しを行う。

2. データヘルス計画の構成

基本構成			
計画策定に際しては、まず、KDBシステムや公的統計等を用いて死亡、介護、医療、健診などの関連データを分析し、地域における健康課題を抽出する。健康課題の整理に際しては、以下の生活習慣病の進行イメージに沿って、特に保健事業における介入により予防可能な疾患に着目する。			
次に、整理した健康課題及び前期計画の振り返りを踏まえ、計画目的及び目標を設定したうえで、目標達成のために取り組むべき保健事業の優先順位付けを行い、各事業の評価指標を設定する。			
生活習慣病の進行イメージ			
不健康な生活習慣	生活習慣病予備群 メタボリックシンドローム	生活習慣病	生活習慣病重症化 死亡・介護
【出典】厚生労働省 新たな健診・保健指導と生活習慣病対策 ※本紙P.16			

## 2 健康課題の抽出～目的・目標の設定

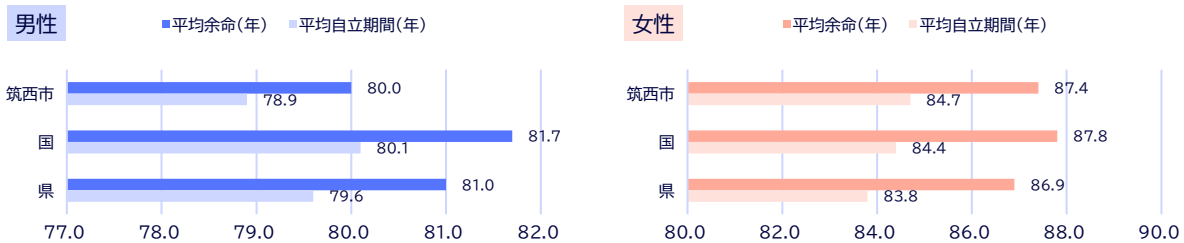
### 1. 死亡・介護・生活習慣病重症化（入院医療・外来（透析））

#### 【平均余命・平均自立期間】

男性の平均余命は80.0年で、国・県より短い。国と比較すると、-1.7年である。女性の平均余命は87.4年で、国より短い、県より長い。国と比較すると、-0.4年である。

男性の平均自立期間は78.9年で、国・県より短い。国と比較すると、-1.2年である。女性の平均自立期間は84.7年で、国・県より長い。国と比較すると、+0.3年である。

平均余命・平均自立期間 ※本紙P. 5



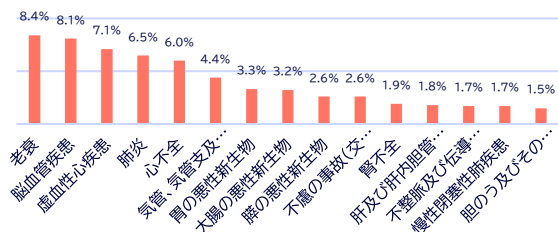
#### 【死亡】

令和3年の生活習慣病における重篤な疾患の死亡者数及び総死亡者数に占める割合は「虚血性心疾患」97人（7.1%）、「脳血管疾患」111人（8.1%）、「腎不全」26人（1.9%）となっている。

平成25年から29年の標準化死亡比は、「急性心筋梗塞」206.0（男性）192.8（女性）、「脳血管疾患」116.7（男性）126.4（女性）、「腎不全」106.9（男性）115.2（女性）となっている。

死亡割合\_上位15疾患 ※本紙P. 17

標準化死亡比 (SMR) ※本紙P. 18, 19



死因	標準化死亡比 (SMR)		
	筑西市		国
	男性	女性	
急性心筋梗塞	206.0	192.8	100
脳血管疾患	116.7	126.4	100
腎不全	106.9	115.2	100

#### 【介護】

要介護認定者の有病割合をみると、「心臓病」は60.7%、「脳血管疾患」は20.5%となっている。

要介護認定者の有病割合 ※本紙P. 21

疾病名	要介護・要支援認定者（1・2号被保険者）		国	県	同規模
	該当者数（人）	割合			
糖尿病	1,151	22.4%	24.3%	23.2%	23.6%
高血圧症	2,664	53.6%	53.3%	52.0%	52.5%
脂質異常症	1,478	29.1%	32.6%	29.0%	31.8%
心臓病	3,035	60.7%	60.3%	58.0%	59.3%
脳血管疾患	993	20.5%	22.6%	22.8%	22.6%
がん	486	9.8%	11.8%	10.7%	11.2%
精神疾患	1,770	35.6%	36.8%	33.6%	36.1%
うち 認知症	1,177	23.9%	24.0%	21.8%	23.6%
アルツハイマー病	979	19.7%	18.1%	17.3%	17.8%
筋・骨格関連疾患	2,631	52.0%	53.4%	50.6%	52.1%

**【生活習慣病重症化】入院医療・外来（透析）**

「虚血性心疾患」及び「脳血管疾患」を含む「循環器系の疾患」の入院医療費は入院医療費全体の16.7%を占めており、「腎不全」の外来医療費は、外来医療費全体の5.7%を占めている。

生活習慣病における重篤な疾患のうち「虚血性心疾患」及び「脳血管疾患」の入院受診率はいずれも国より低く、「慢性腎臓病（透析あり）」の受診率は国より低い。

疾病分類(大分類)別\_入院医療費\_循環器系の疾患 ※本紙P. 24 疾病分類(中分類)別\_外来医療費\_腎不全 ※本紙P. 28

疾病分類(大分類)	医療費(円)	入院医療費に占める割合	疾病分類(中分類)	医療費(円)	外来医療費に占める割合
循環器系の疾患	463,146,180	16.7%	腎不全	285,574,440	5.7%

受診率(被保険者千人あたりレセプト件数)\_生活習慣病における重篤な疾患 ※本紙P. 31

重篤な疾患	筑西市	国	国との比
虚血性心疾患	3.2	4.7	0.69
脳血管疾患	8.6	10.2	0.84
慢性腎臓病(透析あり)	18.4	30.3	0.61



**2. 生活習慣病**

**【生活習慣病】外来医療、健診受診者のうち、受診勧奨対象者**

生活習慣病基礎疾患の外来医療費に占める割合は「糖尿病」が11.2%、「高血圧症」が7.0%、「脂質異常症」が4.3%となっている。

基礎疾患及び「慢性腎臓病（透析なし）」の外来受診率は、いずれも国より高い。

疾病分類(中分類)別\_外来医療費\_基礎疾患(男女合計) ※本紙P. 28

疾病分類(中分類)	医療費(円)	外来医療費に占める割合
糖尿病	556,085,750	11.2%
高血圧症	349,167,500	7.0%
脂質異常症	214,458,190	4.3%

受診率(被保険者千人あたりレセプト件数)\_基礎疾患 ※本紙P. 31

基礎疾患及び慢性腎臓病(透析なし)	筑西市	国	国との比
糖尿病	836.9	651.2	1.29
高血圧症	1099.1	868.1	1.27
脂質異常症	657.7	570.5	1.15
慢性腎臓病(透析なし)	16.8	14.4	1.16



受診勧奨対象者のうち服薬が確認されていない人の割合は、血糖ではHbA1cが6.5%以上であった人の37.0%、血圧ではI度高血圧以上であった人の52.1%、脂質ではLDL-C140mg/dl以上であった人の82.1%、腎機能ではeGFR45ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満であった人の11.1%である。

特定健診受診者における受診勧奨対象者(血糖・血圧・脂質・腎機能)の服薬状況 ※本紙P. 49

血糖(HbA1c)	該当者数(人)	服薬なし(人)	服薬なし_割合	血圧	該当者数(人)	服薬なし(人)	服薬なし_割合
6.5%以上7.0%未満	315	164	52.1%	I度高血圧	1,023	542	53.0%
7.0%以上8.0%未満	224	44	19.6%	II度高血圧	229	117	51.1%
8.0%以上	48	9	18.8%	III度高血圧	26	7	26.9%
合計	587	217	37.0%	合計	1,278	666	52.1%
脂質(LDL-C)	該当者数(人)	服薬なし(人)	服薬なし_割合	腎機能(eGFR)	該当者数(人)	服薬なし(人)	服薬なし_割合
140mg/dL以上 160mg/dL未満	751	628	83.6%	30ml/分/1.73m <sup>2</sup> 以上 45ml/分/1.73m <sup>2</sup> 未満	56	7	12.5%
160mg/dL以上 180mg/dL未満	381	309	81.1%	15ml/分/1.73m <sup>2</sup> 以上 30ml/分/1.73m <sup>2</sup> 未満	6	0	0.0%
180mg/dL以上	189	147	77.8%	15ml/分/1.73m <sup>2</sup> 未満	1	0	0.0%
合計	1,321	1,084	82.1%	合計	63	7	11.1%

**3. 生活習慣病予備群・メタボリックシンドローム**

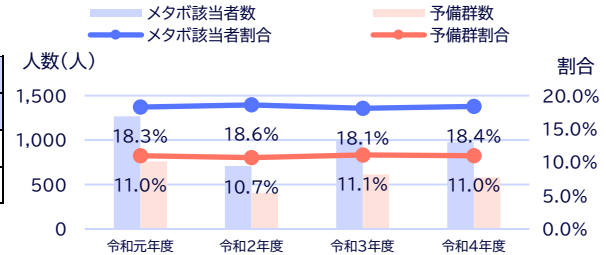
【生活習慣病予備群】メタボ該当者・メタボ予備群該当者

令和4年度特定健診受診者の内、メタボ該当者は975人（18.4%）であり、国・県より低い。メタボ予備群該当者は582人（11.0%）であり、国より低いが、県より高い。令和4年度と令和元年度の該当者割合を比較すると、メタボ該当者の割合は0.1ポイント増加しており、メタボ予備群該当者の割合は同程度で推移している。

メタボ該当者数・メタボ予備群該当者数 ※本紙P. 42

筑西市

	筑西市		国	県
	対象者数(人)	割合	割合	割合
メタボ該当者	975	18.4%	20.6%	20.5%
メタボ予備群該当者	582	11.0%	11.1%	10.2%

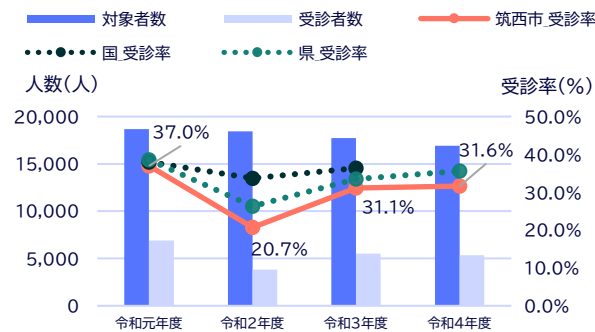


4. 不健康な生活習慣

【生活習慣】特定健診受診率・特定保健指導実施率

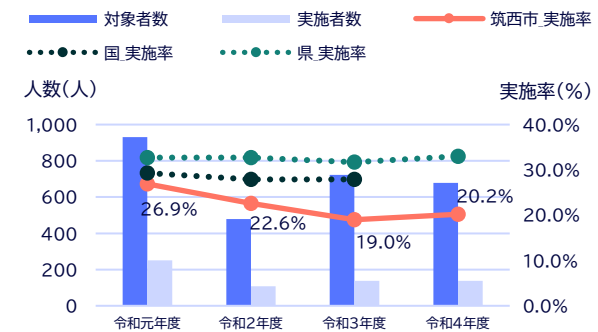
令和4年度の特定健診受診率は31.6%で県より低く、令和元年度と比較して5.4ポイント低下している。

特定健診受診率（法定報告値） ※本紙P. 36



令和4年度の特定保健指導実施率は20.2%で県より低く、令和元年度と比較して6.7ポイント低下している。

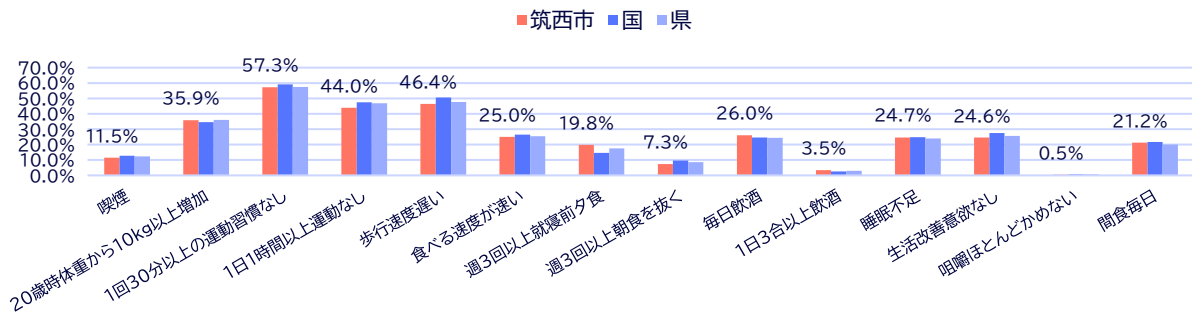
特定保健指導 実施率（法定報告値） ※本紙P. 44



【生活習慣】質問票の回答割合

令和4年度の特定健診受診者の内、国や県と比較して「週3回以上就寝前夕食」「毎日飲酒」「3合以上」の回答割合が高い。

質問票項目別回答者の割合 ※本紙P. 51



## 5. 健康課題の整理

考察	健康課題
<p><b>◀重症化予防</b> 筑西市では、虚血性心疾患、脳血管疾患、腎不全は死因の上位に位置しており、標準化死亡比（SMR）も高い。一方、受診率は国より低く、入院を経ずに死亡に至っている可能性が考えられる。</p> <p>これらの重篤疾患の原因となる糖尿病、高血圧症及び脂質異常症の外来受診率はいずれも国と比べて低く、また健診受診者において、受診勧奨判定値を上回っているものの服薬が出ていないものが血糖では約4割、血圧では約5割、血中脂質では約8割存在している。また脳血管疾患につながる心房細動の発症者もいることから、基礎疾患の有病者を外来治療に適切につなげることで、重篤な疾患の発症を抑制できる可能性がある。</p>	<p>#1 重篤な疾患の発症を防ぐことを目的に、健診を受診し受診勧奨判定値を超えたものに対して適切に医療機関の受診を促進することが必要。</p>
<p><b>◀生活習慣病発症予防・保健指導</b> 筑西市では、健診受診者における受診勧奨対象者は国や県よりも少なく、メタボ該当者・予備群該当者の推移は横ばいである。また特定保健指導実施率は低い状態である。</p> <p>特定保健指導実施率を向上させることで、メタボ該当者や予備群該当者の状況を改善でき、生活習慣病患者の発生を抑えられる可能性が考えられる。</p>	<p>#2 メタボ該当者・予備群該当者の悪化を防ぎ、減少させることを目的に、特定保健指導実施率の向上が必要。</p>
<p><b>◀早期発見・特定健診</b> 特定健診受診率は国と比べて低く、また特定健診対象者の内、約2割が健診未受診かつ生活習慣病未治療であり健康状態が不明であることから、本来医療機関受診勧奨や特定保健指導による介入が必要な人が、依然として捉えきれていない可能性が考えられる。</p>	<p>#3 適切に特定保健指導や重症化予防事業につなぐことを目的に、特定健診受診率の向上が必要。</p>
<p><b>◀健康づくり</b> 特定健診受診者における質問票の回答割合を見ると、食習慣の改善が必要と思われる人の割合が多い。このような生活習慣が継続した結果、高血糖や高血圧、脂質異常の状態に至るものが多い可能性が考えられる。</p>	<p>#4 生活習慣病の発症・進行、重篤疾患の発症を防ぐことを目的に、被保険者における食習慣の改善が必要。</p>
<p><b>◀社会環境・体制整備</b> 重複服薬者が160人、多剤服薬者が42人存在することから、医療費適正化・健康増進の観点で服薬を適正化すべき人が一定数存在する可能性がある。</p> <p>また、後発医薬品の使用割合は県より低く、更なる使用促進により患者負担の軽減や医療費適正化にもつながると考えられる。</p>	<p>#6 重複・多剤服薬者に対して服薬の適正化が必要。</p> <p>#7 後発医薬品の使用促進が必要</p>

## 5. データヘルス計画の目標と個別保健事業

### ◀重症化予防

記載事項		主な項目	開始時	目標値
目標		医療機関受診率（高血糖）	84.7%	85.0%
		保健指導完了者の検査値改善率	36.4%	45.5%
		医療機関受診率（高血圧）	61.1%	65.0%
		医療機関受診率（心房細動）	100%	100%
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#1	糖尿病性腎症重症化予防事業	継続	医療機関受診率（高血糖） 保健指導完了者の検査値改善率
	#1	生活習慣病重症化予防事業	継続	医療機関受診率（高血圧） 医療機関受診率（心房細動）

### ◀生活習慣病発症予防・保健指導

記載事項		主な項目	開始時	目標値
目標		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	14.9%	16.0%
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#2	特定保健指導事業	継続	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

### ◀早期発見・特定健診

記載事項		主な項目	開始時	目標値
目標		受診勧奨実施者受診率	13.9%	18.3%
		人間ドック健診助成申請数	895	931
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#3	特定健康診査等受診促進事業	継続	受診勧奨実施者受診率
	#3	人間ドック健診助成事業	継続	助成申請数

### ◀社会環境・体制整備

記載事項		主な項目	開始時	目標値
目標		指導完了後の多剤服薬者の割合	80.0%	67%
		ジェネリック医薬品普及率	75.5%	80.0%
記載事項	健康課題	主な保健事業名	新規/継続	事業アウトカム指標
個別保健事業	#6	受診行動適正化指導事業	継続	指導完了後の多剤服薬者の割合
	#7	ジェネリック医薬品差額通知事業	継続	ジェネリック医薬品普及率